



←側面(右上-左下に層理, 左上方に細粒化)

およその大きさ 100×40×35cm

形の特ちょう (ニックネーム)

細長いれき岩

色の特ちょう

- ・いろいろな岩石(れき:礫)の混じったもので特に卓越する色はない

表面の特ちょう

- ・含まれているれきにより凹凸ができている

側面の特ちょう

- ・一部に、一方向に平たいれきが並んでいる様子が見られる
- ・粗粒から細粒への変化が見られる

含まれているもの

- ・さまざまな種類のれきの集まり
- ・れきはみな角が取れて丸くなっている (円礫~垂円礫)
- ・粒径は2mmをはるかに超えている

その他の特ちょう

- ・表面と側面から層理が推定できる (層理: 堆積した時の構造)
- ・一度の堆積では粗粒から細粒の物質に重なっていく(級化層理という)。この岩体では右から左側に細粒化しているので、岩体が横置きされていることが判る



メモ

【観察メモ】

- * 堆積物の大きさによる分類 →20 「砂にしては細かくて粒が見えにくい, 砂にしては大きすぎる」と多くの人が感じる境界が 1/16mm(0.06mm)と 2mm程度とされるところから, **れき ≧ 2mm ~ 砂 ~ 1/16mm ≧ 泥**とされている

岩石名

れき岩 (堆積岩)